

## 次号予告

### 特集 建築のOR

- 立体トラスの部材配置最適化 ……………大崎 純, 加藤直樹 (京都大学)  
建築生産における最適化問題を考える ……………古阪秀三 (京都大学)  
最適化から建築の計画・設計を眺める ……………青木義次 (東京工業大学)  
離散的最適化手法を適用した耐震壁の配置計画 ……………高田豊文, 小浜芳朗 (三重大学)  
鋼構造建築骨組の離散断面最適化について ……………澤田樹一郎 (広島大学)

### 編集後記

● 21世紀も早くも半年過ぎました。近々、参議院選挙が予定されています。21世紀の方向が決まる選挙とも言われていますが、政治には、夢と希望に溢れた21世紀への意思決定を期待したいです。

● 今回の特集は、「DEAモデルとその応用」です。DEA (Data Envelopment Analysis) は、特集にも書かれているようにデータから事業体の相対的な効率を評価する方法で、1978年にアメリカのテキサス大学の先生により開発された手法です。世の中には、様々な場面で意思決定していく必要があります。政治や経営の世界では、その連続といっても過言ではないでしょう。今回の特集でも政府主催の研究会、審議会での話を取り上げ、「NTTの電話料金」「首都移転先の候補地」といった身近で社会的な問題に関しての事例が載っています。DEAが、重要な意思決定において活

用されている点は、特筆すべきだと思います。DEAのモデル自体は、線形計画問題(LP)として定式化されます。「追加型DEAシステム」で紹介されているSWを使用すれば、現状あるモデルに対しては手軽に利用することが可能です。本特集がきっかけとなり、DEAが様々な場面で適用されることを期待します。

● 最近の、IT関係の進歩には目覚ましいものがあります。一部地域では、IMT 2000のサービスも始まり、高速ネットワーク回線であらゆるものが接続される世界が実現されつつあります。ORの適用範囲もASP(アプリケーションサービスプロバイダ)のサービスメニューとしてなど形を変えて広がりそうです。今後、どんな特集が組まれるかご期待ください。

(原 裕淳)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 田口 東(中央大学)

委員 大屋隆生(財電力中央研究所), 北澤英理子(東京ガス㈱), 栗田 治(慶応義塾大学), 繁野麻衣子(筑波大学), 清水康司(青山学院大学), 田村明久(京都大学), 中川慶一郎(㈱NTTデータ), 難波和明(東京理科大学), 原 裕淳(㈱東芝), 平山克己(㈱住友金属システムソリューションズ), 松村良平(東京工業大学), 宮崎知明(富士通㈱), 山下英明(東北大学), 吉野秀明(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成13年6月号 第46巻 第6号 通巻486号

代表者 長谷川利治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 田口 東

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

### ● 本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税込)

● 本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337), 日経弘報社 (3563-2241) へ